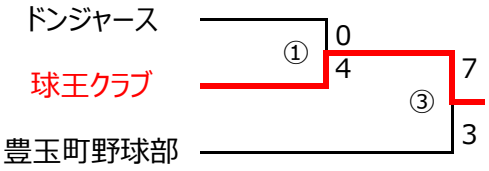
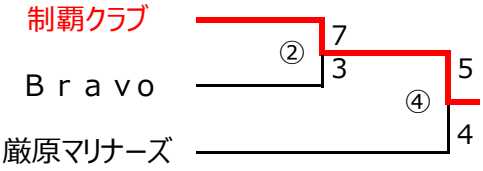
第44回西日本軟式野球大会　対馬予選会の結果
【１部・２部の同日開催】

会期　令和4年3月6日(日)
会場　美津島野球場

２部（C級）



１部（B級）



①【２部一回戦】08:58～　1時間10分

ドンジャース	000 000 0	**0**
球王クラブ	101 200 X	**4**

【二】市山
縫田泰

初回の球王クは縫田泰が左中間二塁打。レフトから三塁への送球が逸れて三塁側ダッグアウト内へ入りテイク２で生還し先取すると、三回は一死後に武末、縫田が連安打の二三塁に小茂田の二ゴロで三走が生還。四回には先頭田中の安打と四球の二死二三塁に扇の中安打で二者が生還し４点差を付けた。

対するドンジャースは二回に四球走者も二飛で飛び出し併殺。四回二死後に左中間二塁打の市山や、五回先頭の阿比留正臣が左前打するも進塁できずに、三塁が踏めずに終わった。

【審判】竹下智之、小島一輝、神宮大司朗、鬼橋佑介

【ドンジャース】

		打	安	点	球
⑥	長岡　亮	3	0	0	0
⑦	築城文士郎	3	0	0	0
③	市山　和希	3	1	0	0
⑨	平松　馨	3	0	0	0
①	阿比留正臣	2	1	0	1
④	松村　直哉	2	0	0	0
⑤	阿比留直樹	2	0	0	0
⑧	阿比留正成	2	0	0	0
②	斎藤　聡太	2	0	0	0
犠0振3残2併1		22	2	0	1

【球王クラブ】

		打	安	点	球
⑧	武末　太	4	1	0	0
⑦	縫田　泰輝	3	2	0	0
⑥	小茂田史士	3	0	1	0
②	松村　聖	3	0	0	0
⑤	田中　淳也	3	2	0	0
①	松村　繁文	3	0	0	0
③	當麻　洋平	2	2	0	1
④	洲河　直樹	2	0	0	0
H4	中庭　俊樹	0	0	0	0
⑨	扇　裕二	2	1	2	0
H9	縫田　幸広	1	0	0	0
犠1振2残6併0		26	8	3	1

---

③【２部代表決定戦】 12:15～　1時間41分　（６回時間切れ）

球王クラブ	150 001	**7**
豊玉町野球部	011 010	**3**

【二】松村聖２、縫田泰
横瀬

先頭死球からの二死三塁に松村聖の中越え二塁打で先制の球王クは二回に打者10人で５得点。一死後に築城と中庭が連安打し、武末のバントも安打となり満塁。縫田の三ゴロ野選に小茂田の四球押し出し後、松村聖の右中間２点二塁打。更に田中の遊ゴロ野選などで５得点。六回には二死から縫田が左中間二塁打。連続四球の満塁に敵失で三走が還り加点した。

昨年大会の覇者・豊玉町野球部は６安打に６四球を得たが、二回の大量失点を返すことができずに３得点どまり。二回は先頭の横瀬が左線二塁打し岩見の中安打で生還。三回は代った松村聖に対し先頭が四球。二盗後に扇が左タイムリー打。五回は先頭四球から三進後に暴投生還したが、六回に四球と岩見が安打の無死一二塁に遊ゴ併殺を喫し、６回時間切れで敗戦した。

【球王クラブ】

		打	安	点	球
⑧	武末　太	3	0	0	1
⑦	縫田　泰輝	4	1	1	0
⑥	小茂田史士	2	0	1	2
②12	松村　聖	3	2	3	1
⑤	田中　淳也	4	1	1	0
①21	松村　繁文	3	1	0	0
③	當麻　洋平	3	0	0	0
⑨	築城　公則	3	1	0	0
④	中庭　俊樹	2	2	0	0
H4	洲河　直樹	1	0	0	0
犠0振4残7併0		28	8	6	4

【豊玉町野球部】

		打	安	点	球
⑥	扇　祥喜	3	1	1	0
⑨	斉藤　良樹	2	1	0	1
③	森　俊介	2	0	0	1
①	横瀬　弘樹	3	1	0	0
⑤	齋藤　公敬	1	0	0	0
5	國分　治幸	1	1	0	1
⑧	岩見英津也	3	1	1	0
⑦	中庭　源	2	0	0	1
②	村瀬　裕亮	1	0	0	0
2	梅野　譲治	1	0	0	1
④	樋口　和	1	0	0	1
犠0振3残5併1		20	6	2	6

【審判】小島一輝、竹下智之、中屋隆太、多田康佑

２部予選会で優勝の球王クラブは４月16日、17日に島原市で開催の長崎県大会に対馬支部代表で参加する

②【１部一回戦】10:32～　1時間30分(六回時間切れ)

Ｂｒａｖｏ	003 000	3
制覇クラブ	033 01X	7

【二】山代、山口、小田
山坂

二回の制覇クは春田剛の先頭安打と四球の一三塁に敵失で先取点を挙げた後の二死二三塁に小宮茂が中前に２点打。三回には山坂の先頭二塁打から四死球の一死満塁に代打の築城が左に２点打。さらに二死満塁に暴投で還りこの回に３得点。五回も春田剛の先頭安打から得た二死二塁に内野ゴロ失で還り点差を広げた。

Ｂｒａｖｏは昨年までの厳原ブラボーが改称。二回ま３四死球走者を出したが効果打が出ず、三回に先頭山口が遊内野安打。四球と井の捕前バント安打で無死満塁。山代の当たりは左越えエンタイトル二塁打で二者を還した後の一死二三塁に捕逸で同点としたが、その後は、四回から登板の春田朱に対し、山口と小田が二塁打するも散発で、六回に登板の春田剛からは三人で抑えられ、六回時間切れで反撃を断たれた。

【Ｂｒａｖｏ】

		打	安	点	球
⑥	山口　真吾	4	2	0	0
⑤	小宮　博輝	1	0	0	2
④	井　聡裕	3	1	0	0
⑧	山代　毅	2	1	2	1
③	小田　剣生	3	1	0	0
②	諫山　祐也	3	0	0	0
①7	吉富　源	2	0	0	1
⑦9	多田　康祐	2	0	0	1
⑨	阿比留起貴	1	0	0	0
1	中屋　隆太	2	0	0	0
犠0振1残7併0		22	5	2	5

【制覇クラブ】

		打	安	点	球
⑥	小宮　茂輝	4	1	2	0
⑤	春田　一馬	3	1	0	0
③	山坂　真心	3	1	0	0
②	小宮　直人	3	0	0	0
⑨1	春田　剛志	2	2	0	1
⑧	小西　清弘	1	0	0	2
①	高原　吉弘	1	0	0	0
H7	築城　陽聖	2	1	2	0
④	春田　龍馬	2	0	0	0
H9	山下　祐喜	1	0	0	0
⑦1	春田　朱哉	3	1	0	0
犠0振5残6併0		25	7	4	3

【審判】松尾吉範、原田武茂、平松馨、阿比留正成

④【１部代表決定戦】 14:11～　２時間12分(延長８、９回タイブレーク)

厳原マリナーズ	100 003 000	4
制覇クラブ	000 002 201x	5

【三】阿比留隆

制覇クは五回までに散発２安打に３死四球走者が三進できずにいたが、４点差を追う六回は先頭が四球出塁の二死二塁に小西の左安打で１点(小西は二進)。続く築城の中安打で２点差とした。七回は代わった工藤の制球が定まらず２連続四球。一死後に山坂が死球。二死満塁となり２連続四死球で同点とした。代った鬼橋には無死一二塁のタイブレーク延長八回に、犠打二三塁から申告敬遠で満塁としたが二者が倒れた。九回は先頭の山坂が三塁前にバント。これが内野安打で満塁に小宮直が右中間にサヨナラ打。

厳原マリナーズは初回に先頭四球と阿比留舜の中安打で一死二三塁に神宮の左犠飛で先取点。二～四回は１安打３四死球１敵失の５走者を出したが二盗死や三本間挟殺などで得点できず。五回に代わった春田朱からは六回一死後に神宮、小山の連安打の二者を阿比留隆の右中間三塁打で還し、返球が悪送の間に阿比留も還り３得点。２点差に迫られた七回は二死後に鬼橋の安打と四球で得点機を作ったが無得点。延長八回は捕犠打で二三塁。四球で満塁の場面は投ゴロ。捕→一と転送され併殺。九回は暴投と四球により一死満塁の好機も、上位二者が春田剛に抑えられた。

【厳原マリナーズ】

		打	安	点	球
②	武本龍太郎	4	0	0	1
⑨4	阿比留　舜	3	1	0	0
61	鬼橋　佑介	2	1	0	0
⑧	小松　蓮	3	0	0	1
③	神宮大司朗	1	1	1	1
R3	若杉　諒	1	0	0	0
⑦9	小山　耕平	3	2	0	0
⑤	阿比留隆太	2	1	2	2
④	朝妻　直斗	1	0	0	1
97	上原　有人	2	0	0	0
①	山本　卓	3	0	0	0
1	工藤　郁弥	0	0	0	0
6	古藤真之祐	1	0	0	0
⑥	西山　開斗	2	0	0	0
4	瀬谷　友啓	1	0	0	0
H4	井上　智仁	0	0	0	1
犠2振7残11併1		29	6	3	7

【制覇クラブ】

		打	安	点	球
⑥	小宮　茂輝	3	1	0	1
R3	三槻　伸也	1	0	0	0
⑤	春田　一馬	5	0	0	0
③4	山坂　真心	2	2	0	3
②	小宮　直人	5	1	1	0
⑨1	春田　剛志	3	0	1	1
⑧	小西　清弘	2	1	2	2
①7	築城　陽聖	4	1	1	0
④6	春田　龍馬	2	0	0	1
⑦19	春田　朱哉	2	0	0	2
犠1振2残13併0		29	6	5	10

【審判】川﨑　仁
松尾吉範
樋口　和
中庭俊樹

１部予選会で優勝の制覇クラブは３月19日、20日に佐世保市で開催の長崎県大会に対馬支部代表で参加する。